

幼児2人を同乗させる3人乗り 自転車の助成について

公明党 関口 和恵



は、保育所や幼稚園への送迎、買い物など日常生活における手軽な移動手段として期待できる半面、価格は5万円以上と高く、さらに機動的でないなどの意見もあると聞いている。

問 各自転車メーカーが安全基準を満たす自転車を開発、今年7月1日より販売を開始したが、一般の自転車に比べて安全性や強度の関係で5万円から10万円と高く幼児1人乗せる従来の自転車より高額である。また、この経済情勢の中で若い世代が新たな負担は厳しい状況である。購入に対する助成や、レンタル制度を創設してはどうか。

答 3人乗り自転車購入に対する助成やレンタル制度の創設については、ニーズ調査により需要の把握に努めるほか、国の経済支援策の動向を見きわめたいと考えている。

「調べ学習」に役立つ 学校司書の配置について

流政会 馬場 征興

問 子どもの読書離れが叫ばれている。学校図書館を有効活用して子ども達が面白さに目覚め、学ぶ意欲が湧いてくる。図書館として整備され図書館環境は十分であるのか。特に学校司

書または専門知識を有する人を配置して、子どもに本の紹介、先生の教科に役立つ図書案内をし、教育の内容の向上と充実を図ることについて問う。

答 以前より本市では独

自の教材「音読ながれやま」を作成して、読書活動の推進に力を入れている。読書活動の重要性に伴う図書館活動については認識しているが、全体として標準の蔵書冊数を超えているものの、学級増の関係で標準冊数に達していない学校が数校あり、重点的に整備を進めねばならないと考えている。

現在本市では学校図書館法に規定されている司書配置の配置を主として進めており、担当教諭指導のもと担任教師や委員会活動を通じて児童生徒が学校図書館の整備や活動、図書の貸し出しなどを行っている。すべての小学校で地域ボランティアの方々に読み聞かせや本の紹介、図書の整備など日常的な活動をするなど、様々な形で学校図書

平成22年度から実施される コンビニ納付について

公明党 秋間 高義

問 平成20年3月議会における私の一般質問において納税者の視点に立って、納付しやすい環境を整えるため、コンビニ納付を判断されたことは高く評価する。そこで、平成22年4月から実施されるコンビニ納付の種類と現在までの準備の状況や実施方法はどのようになっているのか。また、市民への周知は、いつ、どのように行うのか問う。

答 コンビニ収納を実施する公金の種類は、市民税の普通徴収分をはじめ、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険料の普通徴収分、介護保険



ボランティアによる読み聞かせ

館の整備充実に努めている。ボランティアの中には司書資格を有しておられる方もいて、小中学校合わせて約3割の学校でご支援いただいている。現時点では、地域、保護者の皆様とともに学校司書教諭を軸に読書活動の推進、学校図書館にかかわるボランティアの連携について、さらに充実していきたいと考えている。

料の普通徴収分、後期高齢者医療保険料の普通徴収分及び保育料となっている。コンビニ用の納付書はバーコードが印刷された納付書となり、全納分から期別分に至るまで綴ることなく単票のまま送付する。この納付書を取り扱い可能なコンビニエンスストアの窓口にお持ちいただき、現金で納付いただくことになる。

なお、本市の場合大手18社のコンビニエンスストアチェーンでの取り扱いが可能となる。また、コンビニエンスストア各社からの要請によって、期別ごとの納付額が30万円を超える場合は

新松戸のけやき通りの 神明堀へ人道橋の建設を

公明党 田中 人実

問 松戸市が計画している新松戸のけやき通りの行き止まりの神明堀への幅員16メートルの橋の建設は住民の反対が強い。けやき通りが貫通すると南流山小学校の通学路に大量の車が流入するので木地区の住民も反対している。人と自転車を通れる橋の早期建設が住民の要望である。松戸市に流山市の意向を伝えるべきと思うがどうか。

答 現在準用河川神明堀の改修を流山市、松戸市双方で行っているが、この場所は松戸市施行区間であり、松戸市ではコスト面から橋を兼ねた護岸工事を行うと地元で説明している。松戸市は橋の形状について平成21年6月の説明会ではけやき通りの幅員に合わせて16メートルの整備を提案した。その後、平成21年11月の説

ページでお知らせするほか、当初分の納入通知書発送時にコンビニエンスストアでの収納開始の御案内をするチラシを同封する予定で準備している。

明会では幅員13メートルでの整備を提案しているが、現在のところ一部住民に理解を得られず、今後も適宜説明会を開催し架橋計画を進めていくと聞いている。神明堀沿いの側道から南流山方面への車の流入については、流山市では南流山小学校の通学路から幅員11メートルに道路を拡幅できない。対応として都市計画道路木・流山線幅員16メートル、またその先に幅員12メートルの区画道路ができることから、そこへ車を誘導する方策で交通安全対策を図っていく必要があると考

える。この橋の場所が松戸市の地域なので、松戸市が計画を立てて進めており、橋梁の部分についても、道路も含め管理責任者は松戸市になっているので流山市に協議はなかった。

市民参加条例の制定と 協働によるまちづくり

流政会 戸部 源房

問 市民自治の根幹である「市民参加条例」と「地域まちづくり協議会・全市民税1%（7千万円）を

権に関する条例を制定し、20・21年度に11小学校区「コミュニティ推進協議会」の設置の目的・課題について問う。大阪府池田市は、平成19年に「池田市地方

自治会掲示板について

改革21市民クラブ 海老原 功一

問 自治会に設置してある掲示板には、市民や警察など公的機関からのポスターの掲示や、自治会内情報などの情報伝達手段として活用されているが、雨、風に耐えられない。

美観的な面、掲示する効果を高めるためにも、窓付き掲示板の設置について補助制度の創設ができないか問う。

答 地域コミュニティ活動の根幹をなしている自治会活動の促進を図るため、自治会活動の支援策として活動の拠点となる自治会館の維持管理費や大規模修繕の自治会館建設費の補助及び自治会活動に対するコミュニティ保険の対応、さらには自治会活動用物品の貸与、例えば掲示板、回覧板、テント等を貸与しているところである。

解決機能を担うまちづくり協議会、さらには全市民的な取り組みを目指す全市民税1%推進委員会を構想している。本市としては、平成22年度にモデル地区を2地区程度設定し、地域まちづくり協議会を設置し、市として側面から支援するとともに、その動向を踏まえ、翌年度以降段階的に拡大したい。池田市の例については、将来的にはまちづくり協議会を構成する団体等へ交付している補助金等を精査して、また協議会が行う事業等を検討した上で助成をしていきたい。

現在自治会へ貸与している掲示板については、ご指摘のように雨、風を防げるようなグレードの高いものではない。

ちなみに、現行の掲示板の貸与状況は、平成20年度が16基、平成21年度は10基の購入に対して既に8基を貸与している状況である。

しかし、一方で美観上の面などから自治会の地域に合った掲示板の貸与を要望される自治会もあることから、自治会の自主性及び活性化を図るために、現在市で貸与している掲示板以外の掲示板を設置する場合についても、現行の掲示板の購入範囲内での助成ができるよう関係部署と実施に向けて協議をしていく。

